専門研修プログラム名	田宮病院精神科領域	専門研修プログラム
基幹施設名	医療法人崇徳会　田宮病院	
プログラム統括責任者	稲井　徳栄	

専門研修プログラムの概要	病棟実習、外来診察（陪席を含む）を行います。また、新入院患者の症例検討会（毎週）、救急病棟の多職種カンファレンス、療養型病棟の退院支援委員会があります。学会や研修会の参加を奨励している。最終的に精神科専門医資格の取得を目指している。なお、児童・思春期精神障害、アルコール・薬物依存症についても学べることが可能である。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	常勤医は12名、その内9名が精神保健指定医で7名が指導医である。措置入院患者数は月1～3名と多い。よって、措置入院の症例を受け持つことは可能である。また、難治性統合失調症に対してクロザピンによる薬物療法を行い、修正型電気痙攣療法（ｍ－ECT)も導入している。よって、それらに触れることが可能である。訪問診療、施設見学を行っている。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	精神医学一般。患者から信頼される診療。精神科専門医と精神保健指定医の資格取得。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	症例検討会参加（週に1回）。 療養型病棟の退院支援委員会参加。 救急病棟の多職種カンファレンス参加。
	学問的姿勢	真摯な診療態度。生涯に渡って研鑽を積む姿勢。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	患者の立場に立ったチーム医療の実践。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	連携病院と協力して見直す。研修希望の専攻医は受け入れる方針。
	研修施設群と研修プログラム	連携11施設と協力して精神科領域すべてに渡って研修できることを目指す。
	地域医療について	地域医療の第一線に出て活躍できる医師を目指す。
専門研修の評価	日本精神神経学会の研修実績管理システム（指導医）に則って判定。	
修了判定	日本精神神経学会の研修実績管理システム（指導医）に則って判定。	
	専門研修プログラム管理委員会の業務	研修プログラム見直し。専攻医の評価及び情報共有。
	専攻医の就業環境	常勤。週に4回以上勤務。

専門研修管理委員会	専門研修プログラムの改善	1年に1回専門研修プログラムの見直し。週間プログラムについては半年に１回専攻医にあわせて見直し。
	専攻医の採用と修了	実施している。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	随時対応可。
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	なし。
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。主な情報として医師名、所属、役職を記述してください。	丸山　直樹（院長）、稲井　徳栄（副院長/研究・研修センター長）、的場巳知子（診療部）、保谷　智史（診療部、精神科医長/医局長）、嶋田　修一郎（診療部、精神科医長）	
Subspecialty領域との連続性	なし。	